

国分寺市教育委員会 (所在地：東京都国分寺市)

事業名 障害者のための「学問のすすめ」
 ~ひとりひとりの主体性を引き出し、社会参加を促す学習プログラムの実践的研究~通称：くぬぎカレッジ

研究テーマ 学校から社会への移行期 ○ 生涯の各ライフステージ ○

主な対象 知的障害のある方

事業の趣旨・目的

- 障害の有無にかかわらず市民が地域で支え合う持続可能な学びの仕組みづくり
- 住民同士の顔の見える関係づくりと相互理解
- 社会教育と福祉の連携を通じた交流の創出と地域活性化

学習プログラムの内容

- くぬぎラボ(学習)**
1つのテーマについてみんなで考えます
「恋バナ」(恋愛について)や「ニュースを発信」など
- テアトロくぬぎ(表現)★**
自分のからだで楽しく表現しよう
作品を使った楽器にもチャレンジ
★はどちらか1つ選びます
- アトリエくぬぎ(造形)★**
物を作ったり、絵を描いたり
協力してひとつのものを作りましょう
- くぬぎカフェ**
おやつとお茶でホットひといき
いろいろお話しませんか
※しばらくの間、飲食はしません

スケジュール

	10:00~12:00	13:00~15:00	15:00~16:30
8/23(日)	🎓		
9/13(日)		🎵	🎨
10/11(日)	🎓	🎵	🎨
11/8(日)	🎓	🎵	🎨
12/5(日)	🎓	🎵	🎨
1/17(日)	🎓	🎵	🎨

配布資料も色分けやルビ併記

自由で交流するツールも考えています

- 会えなくても声で気持ちを伝えよう... **くぬぎ電話**
- 電話が難しくても文字で情報交流ができる... **くぬぎメール**
- 「くぬぎカレッジ」の様子や、参加者同士の交流を新聞として発行する... **くぬぎジャーナル**

わかりやすいアイコンを用いた表示・掲示の配慮

事業実施体制・連携先

教育委員会公民館課
 ・本多公民館
 ・恋ヶ窪公民館
 ・並木公民館

市内小学校
 東京学芸大学
 外部講師 (元JICAカメラマンほか)

● = 成果 ○ = 課題 ■ = 要検討

研究の成果と課題

- 参加者数 (定員20人⇒21人)
- 参加者の年齢と障害の度数 (20代~60代：愛の手帳2度~4度)
- 登録スタッフ数 (当初見込9人⇒実登録19人+留学生2名)
- 登録スタッフの世代 (10代~70代)
- 講師から講師の「紹介の輪」
- 講師による広報支援「新聞記事掲載」
- メール・電話・ジャーナルを通じた自己表現
- 新型コロナウイルス対策での活動中止
- ソーシャルディスタンスの適切な取り方
- オンライン対応の環境整備
- 関係者による情報共有・事前準備の在り方
- 広い世代に及ぶスタッフ間の交流



その他研究の詳細など

活動の詳細は国分寺市HPへ➡ <https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/kurashi/1012309/kouminkan/1025298.html>